

浜の町別荘と「大正四年 日誌 麻生別荘」

原口, 大輔
九州大学 : 准教授

<https://doi.org/10.15017/7344011>

出版情報 : エネルギー史研究 : 石炭を中心として. 40, pp.137-181, 2025-03-25. 九州大学附属図書館
付設記録資料館産業経済資料部門
バージョン :
権利関係 :



【資料紹介】 浜の町別荘と「大正四年 日誌 麻生別荘」

原 口 大 輔

解題

明治四二年（一九〇九）八月一八日付『福岡日日新聞』三面には、麻生太吉のインタビュー記事が掲載されている。^①

一昨日の午後濱町の別荘に訪ふと、今や建築工事を督して居た氏は一室に記者と対座しつゝ、……此屋敷ですか、旧藩の野村さんの濱屋敷であつたのを譲受けたのです、イヤ別荘といふて別に贅沢に造る訳でもないの、実は子供の為なのです▲私は子供に縁が薄いといふのか、先づ年頃になつた二人の女子を失ひ、長男は重病に罹り、其から米国に留学させた次男を失ひましたので、三男も何処かに修行に出す年頃になると家内が頻に心配しますので、其も無理からぬと思ひ三男の修学を兼ねた一家の保養場として求めた訳なのです▲御覧の通り快潤な場所、東京辺の室内煽風機よりか玄界の風が余程強ふ御座いますから、夏分は氣持が宜しいです、津屋崎の仕構ですか、彼は鉾山係員の慰藉場として計画したのですが、地盤が

悪くつて当初の目的通りに行きませぬ（後略）

ここで麻生太吉が浜の町に別荘を取得する過程について、簡単に確認したい。家族史的背景として、記事にもある通り、明治四一年三月、次男・鶴十郎がアメリカ留学中に客死した。^②そのため、麻生家の後継者は長男ではなく、当時、涪々覺（熊本）に在籍中の三男の太郎と決まり、寄宿舎から呼び戻すこととなった。そして、福岡にある岩田屋別荘を借りて、太郎は学校に通わせず家庭教師の教えを受けさせ、翌明治四二年、旧黒田藩家老・野村家の浜屋敷を買い取り、改築し、太郎とともに福岡商業学校、福岡工業学校の生徒一五名を選び住まわせることとなった。^③この浜の町別荘は、県庁、県会議事堂、福岡市役所をはじめ、近隣には玄洋社、松本健次郎別邸（大名町）、福岡鉾山監督署、黒田家別邸（浜の町）などが集まる、福岡市の政財界の中心地にあつた。きっかけは家族の事情であり、右記事では「一家の保養場」と言っているものの、その立地もあいまって、明治末期以降、麻生が福岡市の政財界で活動するための拠点となる。なお、飯塚栢森に自宅のある麻生は、当初、折尾経由

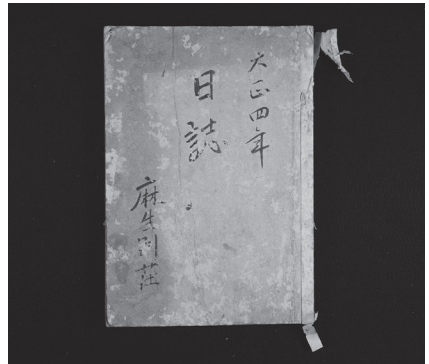
で福岡市と往復していたが、自動車の購入後（大正二年と考えられる）、八木山峠を経由して飯塚・福岡間を往復する機会が圧倒的に増えた。^④

なお、麻生太吉が構えた別荘は、この浜の町別荘の他に、先述の記事にもある津屋崎や別府にも確認できる。^⑤近年、東京から離れた別荘と人々をめぐる政治力学を検討する研究が蓄積しており、非常に興味深い分析が行われている。一方、地方都市の中心に別荘を構えた麻生はこれらの事例とは異なるベクトルであることが想定される。なお、保養地の性格を有する麻生の別荘としては、ほぼ同時期に取得した、別府別荘（山水園）がある。ただし、こちらも保養地としての役割にとどまらず、電力をめぐる大分・宮崎進出の拠点となっていたことに留意する必要がある。^⑦

さて、九州大学附属図書館付設記録資料館に寄託されている「麻生家文書」には多様な史料が確認できることは、これまでの調査・目録から明らかになっているので、ここでは繰り返さない。その中で、全五巻で刊行された『麻生太吉日記』は、年ごとに記述量の差はあれ、明治三九年から昭和八年（一九三三）までの時期の記述がある一方、「本家日誌」と呼ばれる麻生家の家政日誌は、明治二七年より昭和一五年までは毎年確認することができる。^⑧「本家日誌」は麻生太吉本人やその家族の動向、来訪者、麻生商店をはじめとする各会社の活動など日々の事柄が記録され、『麻生太吉日記』の記述内容を補完する点でも貴重な史料である。また、浜の町別荘の日誌も複数冊確認（表）^⑨されていることは既で紹介されているが、今回翻刻した「大正四年 日誌 麻生別荘」（麻生家文書「二八六一」）は、昨年度の史料整理のなかで新たに発見された家政日誌である。表紙（写真）^⑩に墨書で「大正四年 日誌 麻生別荘」と記され、縦二二、九センチメートル、横一六、〇センチメートル。

【表】浜の町別荘日誌（2024年11月時点）

史料番号	表題	年
玉 1	日誌	明治43年
玉 2	日誌	明治44年
玉 3	日誌	明治45年、大正元年
玉 4	日誌	大正2年
286 1	日誌	大正4年
玉 5	日誌	大正5年
玉 6	日誌	大正6年1月
玉 7	日誌	大正8年8月
玉 8	日誌	大正10年
玉 9	日誌	大正9年1月
玉 10	日誌	大正11年



中には二〇行罫紙（中央に柱）を半分に分けて折り右側を和綴され、表紙は厚紙である。日々の記録は墨で認められ、複数人の筆跡が確認でき、交代制で記すことになっていったようである。「本家日誌」と同様、基本的には浜の町別荘での日々の動向が事務的に記されており、麻生太吉をはじめ、家族にかんする動向が主であり、『麻生太吉日記』や本家日誌を補完するものである。

本稿で紹介する大正四年（一九一五）は、第二次大隈重信内閣のもと、第一二回衆議院議員総選挙が実施され（三月二五日）、立憲政友会が敗れた年でもある。家政日誌なので具体的な記述はないが、永江純一や森田正路の来訪（二月二六日）といった記述も見られる。麻生太吉名義の電報原稿も一部記述されており、備忘録として使用されていたことも窺える。また、日誌を通読すると、頻繁に麻生家関係者が医師の診察を受けていたことが分かり、巻末には別途受診記録が残されている。日誌に登場する医師を何人か摘記すると、「山田先生」は山田駒之輔（小児科）、

「三宅先生」は九州帝国大学医学部教授の三宅速（外科）、「福田博士」は同教授の福田龍吉（内科）、「今淵先生」も同じく同教授の今淵恒寿（婦人科・産科学）、「伊藤先生」の「藤」は「東」の誤記で、同教授の伊東祐彦（小児科）を指すと思われる。当時、九州帝国大学医科大学が福岡で受診できる最先端の医療であろうことは想像に難くないが、大学病院での受診にとどまらず、浜の町別荘への往診も少なくない。このような人的繋がりがどのように形成されたか、そして、どのように展開していくかは今後の検討課題であるが、非常に興味深いトピックと言える。

なお、日誌における主な麻生家関係者の呼称として、例えば、麻生太吉は「御主人」、「大主人」、「大御主人」、太郎（太吉三男）は「若主人」、夏子（太郎妻）は「若奥様」、義之介（太吉養子）は「社宅御主人」などと記されており、また執筆者によって呼称に揺れがある点を付記しておく。

注

- (1) 「忙中閑話（七十七） 麻生太吉氏」『福岡日日新聞』明治四十二年八月一日、日付、三面。
- (2) 諸原真樹「麻生鶴十郎に関する資料について——米国留学を中心に——」（麻生グループ一五〇周年プロジェクト委員会編『麻生百五十年史』（株式会社麻生、二〇二三年））。
- (3) 麻生太吉翁伝刊行会『麻生太吉翁伝』（麻生太吉翁伝刊行会、一九三五年）、一六一頁、麻生百年史編纂委員会編『麻生百年史』（麻生セメント株式会社、一九七五年）、二六九、二七〇頁。

- (4) 麻生太吉の福岡市の経済活動については、新鞍拓生『筑豊鉱業主麻生太吉の企業家史』（裏山書房、二〇一〇年）、同『九州の企業家麻生太吉の産業統治』（一粒書房、二〇二二年）を参照。

- (5) 前掲『麻生太吉翁伝』、二五三―二五七頁、原口大輔「麻生太吉と福岡市」（『市史研究ふくおか』第二〇号、二〇二五年刊行予定）。

- (6) 近現代日本の別荘に関する研究として、佐藤信『近代日本の統治と空間——私邸・別荘・庁舎——』（東京大学出版会、二〇二〇年）などを参照。
- (7) この点については、前掲新鞍『九州の企業家麻生太吉の産業統治』を参照。

- (8) 麻生太吉日記編纂委員会編『麻生太吉日記』全五巻（九州大学出版会、二〇一一年―二〇一六年）。

- (9) 麻生太吉日記編纂委員会編『麻生太吉日記』第一巻（九州大学出版会、二〇一一年）、四三〇頁、原口大輔「『麻生家文書』の日誌をのぞく」（『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター』第一六号、二〇二二年）、同「『麻生家文書』の中の編年史料——麻生本家を中心に——」（研究代表者・日比野利信『石炭資源の発見と近代政治システムの形成』平成三一年度―令和五年度科学研究費助成事業研究成果報告書、二〇二四年）。

- (10) 前掲『麻生太吉日記』第一巻、四三〇頁。

【凡例】

- ・原則として旧字体は常用漢字に改め、変体仮名はひらがなに改めた。
- ・句点、読点は編者が適宜これを付加した。
- ・原文にルビがある場合はそのまま記載した。
- ・明らかな誤字・脱字の場合は文字の右側に「ママ」を付し、あるいは正字を記した。
- ・判読不明の文字は□で表記した。
- ・闕字・平出はそのまま表記した。
- ・今日から見ると不適切な表現が見られる個所もあるが、歴史的史料の性格を尊重し表記はそのままとしている。

【表紙】

大正四年
日誌
麻生別荘

【本文】

- 一月七日
- 一、午前十一時三十分御主人自働車にて御来邸。
- 一、午後四時四十分着にて富代様御帰福。
- 一月八日

- 一、御主人御滞在。午前十一時半より一方亭二行かる。夜十二時御帰邸。
- 一月九日
- 一、御主人午前十時五十分発にて御帰飯。
- 一、朝吉田氏来邸。
- 一月十日
- 一、午後茂田様来宅。
- 一月十四日
- 一、御主人午前十時自働車にて御来邸。
- 一、午後一時より棚橋氏、中野氏外二名御来宅。夕食後退出せらる。
- 一、午後七時御主人松成御別邸二行かる。
- 一月十五日
- 一、御主人午前五時発にて御帰飯。
- 一月十七日
- 一、別府貝嶋氏より電報来る。其事本家へ報知す。
- 一月廿五日
- 一、別府別荘より富代様へ小包到着。
- 一、麻生屋栄様之ことにて本家へ電話す。
- 一月卅一日
- 一、麻生屋栄様御入込。
- 二月三日
- 一、御主人午後一時御来邸。九水御出浮。
- 一、夕方より一方亭二行かる。
- 二月四日
- 一、朝梅谷氏、北崎氏来宅。

- 一、御主人十一時より九水ニ御出。
- 一、午後三時自働車本家ニ帰る。

二月五日

- 一、午前九時発ニテ御主人別府ニ行かれる。

二月七日

- 一、午後高等女学校二学年担当教師水野氏家庭訪問^門之名ニテ御来宅。

二月八日

- 一、午後一時義之介様伊万里御帰途御来宅。
- 一、四時頃後藤治子夫人及操、夏子夫人御一緒ニ自働車ニテ御出福。
- 一、夕飯後活動写真へ御案内。

二月九日

- 一、三夫人自働車ニテ太宰府御参詣。
- 一、郵便局長、令夫人御来宅。御一同昼食後西公園及買物ニ御出浮。
- 一、夕食後九州座ニ奇術見物ニ行かる。

二月拾日

- 一、操奥様午前九時汽車ニテ御帰飯。
- 一、外御一同十一時自働車ニテ御退出。
- 一、御主人十二時着ニテ別府より御出福。九水ニ立寄られ四時御来邸。
- 一、五時一方亭御出。
- 一、鉄道便ニテ義之介様袴送る。

二月十一日

- 一、御主人九時御帰飯。
- 一、十時三十分中野先生来宅。

二月十九日

- 一、午後四時半大主人自働車ニテ来邸。五時常盤館ニ御出浮。

二月廿日

- 一、大主人九時ニテ御帰飯。
- 一、午後一時藤崎信次郎氏外四、五名来宅せられしも御主人御帰飯後ニテ共進会の件ニテ訪問せし旨云置テ退出さる。

- 一、午後三時風呂之見積りニ大工来宅。

二月廿参日

- 一、大主人午後四時着ニテ御出福。直ニ一方亭ニ御出。

二月廿四日

- 一、御主人午後五時一方亭より御帰邸。御気分悪く山田先生来診。胃腸病とのことにて終夜腸分暖む。

二月廿五日

- 一、朝山田医師来診。
- 一、御主人終日床ニ付かる。
- 一、夕方山田先生来宅。
- 一、午後一時太賀吉様、つや子様別府より御出福。
- 一、午後大学病院ニテつや子様三宅先生より小手術受けらる。
- 一、午後七時打電。

トウキヨウシテツドウイン

センゴクミツル アソウ

デンミタコンナンノコトニナリコマリヨリマス二三ニチウチニカク
ホウシマス

二月廿六日

- 一、御主人終日御在宅。

一、朝山田先生来宅。

一、午前永江純一氏御来邸。

一、午後北崎氏来宅。

一、全政友会森田氏来宅。

一、午後二時つや子様病院御出。

一、御主人病氣見舞のためおえん、おはま来宅。

一、午前十一時打電。

ヲヲサカトサボリウラマチ

ヤスカワケイ一ロウ

アソウ

二三ヒセネバコウホウジヤケツテイセヌソレマデシツパツケツシカ

ネマス

ランガグントバタ

マツモトケンジロウ

アソウ

フミミタシツパツ二三ヒセネバケツテイカネマスソノコトヤスカワ

シニデンシタ

二月廿七日

一、御主人御滞在。

一、朝山田先生来診。

一、夏子夫人御出福。

一、午後五時より御主人一方亭ニ御出。

二月廿八日

一、御主人午後四時発ニて御帰飯。

一、山田先生朝夕つや子様の診察さる。

一、朝吉田氏外一名来邸。

一、伊吹氏来宅。

一、棚橋氏来宅。昼食後退出。

一、つや子様三宅先生宅ニ付替へ二行かる。

三月一日

一、朝午後山田先生来診。

一、午後二時半着ニて義之介様御夫婦、太介様御出福。太介様御病氣ニて。

〔欄外〕伊藤先生来診。

一、夜八時伊藤博士、山田先生立合ニて御診察。

一、四時五十分発ニて夏子夫人、太賀吉様同伴ニて御帰飯。

三月二日

一、朝夕山田先生来診。

一、つや子様病院へ付替へ二行かれる。

三月三日

一、朝伊藤博士、山田先生来診。

〔欄外〕伊藤博士来診。

一、十一時つや子様病院御出。

一、午前十時大御主人宛ニて手紙四通本家へ送る。

一、午後山田先生来診。

一、中野先生への礼届る。

三月四日

一、午前午後山田先生来診。

一、夏子夫人、太賀吉様御同伴午後一時御来邸。

一、午前十一時つや子様病院御出。

一、午後四時七分発二て太賀吉様青柳氏と共に飯塚へ帰る。

一、午後茂田様、太介様病氣見舞之為来宅。

一、麻生屋御内室及吉田御内室、太介様御見舞之ため御来邸。

三月五日

一、山田先生二度御来診。

一、麻生屋、高山両夫人午後四時五拾分御退出。

一、午後義之介様、北村先生飯塚御出。相談之為め病院二行かる。

一、義之介様北村先生御同道^{（儀）}栗まで御出。

三月六日

一、朝山田先生来邸。

一、朝店員福岡氏北村先生送り之帰途御来宅。

一、午後伊藤博士、山田先生来診。

〔欄外〕伊藤博士来診。

一、茂田つや様来宅。午後八時退出。

一、午後十一時福岡氏来宅（稲田博士見送り之ため出福）。

三月七日

一、午前午後山田医者来診。

一、午後二時花田看護婦入込。

一、午後麻生八郎様太介様見舞之為め御出福。

三月八日

一、朝夕二度山田先生来診。

一、午後一時本家若主人、大奥様、瓜生夫人御同道御来宅。

一、山内麻生御主人退出。

三月九日

一、山田先生来診。

一、午前十時麻生彦三郎様御夫人見舞之為め来宅。午後四時御退出。

一、瓜生様夫人御一泊の午後四時御退出。

一、谷口知事より白布一反到着（御母堂死去ニ付てのお茶）。

三月十日

一、午前八時伊藤博士、山田医師来診。

〔欄外〕伊藤博士来診。

一、午前八時三十分大奥様若主人同道二て久保博士宅ニ診察二行かる。

一、午後一時野見山様御見舞ニ御来宅。

一、全四時頃有田御母堂及隆介様御来宅。

一、午後四時大奥様、若主人及野見山様御帰飯。

一、夕方山田医師来邸。

三月十一日

一、山田先生来診。

一、野見山御夫人御来宅。

一、午前吉川監十郎様来宅。午後御退出。

三月十二日

一、山田先生来診。

一、午後一時若御主人御来宅。

一、正午十二時有田御母堂様御退出。

一、午後一時半野見山御夫人御退出。

三月十三日

一、午後山田先生来診。

一、午後五時半清水壮佐久氏来宅。

一、全六時半若主人、義之介様、清水様御同道福村家ニ御出浮。十二時御帰宅（清水様御泊り）。

三月十四日

一、午後山田先生来診。

一、清水様九時頃御退出。

一、若主人及義之介様十二時清水様御案内しておえんニ御出浮。

三月十五日

一、午後山田先生来診。

一、午前九時若主人及義之介様御帰飯。

一、長岐様太介様見舞之為め御来宅。

一、下男清水伊三郎午前十時五十分ニて飯塚本家行途中立寄る。

三月十六日

一、山田先生来診。

一、本家大主人太賀様同道二時半御出福。

一、若主人御夫婦大主人御迎ニ停車場ニ行かる。

一、大主人、若主人病院へ診察ニ行かれ四時頃御帰宅。

一、新調之風呂出来上る。

三月十七日

一、御主人御病氣の為め御出福中終日御在宅。

一、山田医師来宅。御主人、太賀吉様、太介様、つや様診察。

三月十八日

一、御主人在宅。

一、山田先生来宅。

一、午後十二時大奥様おはつ同道来邸。

一、全二時長七来る。

一、太介様部屋替へ。夜具其外消毒。

一、午後四時御奥様、若主人国永歯科医ニ御出浮。

三月十九日

一、御主人在宅。

一、山田先生来診。

一、代診午後四時御主人腸洗ニ来宅。

一、午前五時発ニて若主人御帰飯。

一、午前十時半大奥様歯医者ニ御出。

三月廿日

一、御主人九時発ニて太賀様同道御帰飯。長七、おすみ御伴。

一、山田先生来診。

一、代診午前七時御主人腸洗。

一、花田看護婦退出。

三月廿一日

一、山田先生来宅。

一、太介様始めて腰湯される。

一、呼鈴修繕。

三月廿二日

一、大御主人飯塚一番列車ニて御出福。

一、十二時自働車来る。

一、山田先生夕方来宅。

一、朝代診来宅。

一、午後茂田看護婦来宅。八時半退出。

一、午後三時棚橋氏来宅。一時間後退出。

三月廿三日

一、御主人九時発ニて門司御出浮。午後四時半御帰宅。

一、山田先生来診。

一、代診朝夕二度来宅。

三月廿四日

一、御主人午後二時病院診察受けニ御出浮。

一、午後十二時半若主人来宅。御主人と共に病院お出。

一、午後夏子夫人病院へ酒屋御内室見舞。

一、午後七時義之介様、有田御母堂様、まさえ様御出福。

一、山田先生及代診来宅。

三月廿五日

一、御主人十二時発ニて御帰飯。

一、午前十一時若主人、夏子夫人、つや子様自働車ニて御帰飯。

一、十二時吉川御内室御来宅。午後四時御退出。

一、午後義之介様宇美八幡宮御参詣。全七時御帰宅。

一、山田先生及代診来宅。

一、草楨二間正三分板四枚、杉二間正七分板五枚到着。

三月廿六日

一、山田先生来診。

一、正午十二時義之介様、有田御母堂、まさえ様御退出。

一、大奥様午後国永歯医者ニ御出。

一、御主人午後九時御出福。

一、若主人、義太賀様七時半自働車ニて御出福。三宅博士宅ニ御立寄り

れて午後八時御来宅。

三月廿七日

一、午前九時発若主人御帰飯。

一、御主人終日御在宅。

一、山田先生二度来診。

一、午後七時直方堀氏ニ打電。

ゴウセンラシクスハナハダフテギワニテキヨシクス

三月廿八日

一、御主人在宅。

一、午後十一時若松伊吹氏来宅。

一、午前十時三十分山内麻生御主人賀一郎様御病氣ニて診察のため御来宅。外二吉子様、伊藤看護婦、女中同道。山田先生診察されて三宅先生宅ニて診察受けらる。

一、山田先生二度、代診一度来診。

一、午後自働車を山田先生ニ用立する。

一、午後八時松崎三十郎氏及伊吹氏御同道ニて来宅。

三月廿九日

一、御主人終日御在宅。

一、午前十時野見山氏来宅。

一、村上義太郎氏来宅。

一、午前午後瓜生氏二度来宅。

一、平井卯三郎夫婦来邸。

一、山田先生及代診来宅。

一、清水先生来宅。

一、清水先生長崎帰り之御土産として左の品御旅館二届る。

奥様へ片側帯、英一郎様へ大嶋餅一反、御嬢様へ縮緬着物、赤壁
茶吞茶碗五、伊羅保抹茶茶碗一個

一、中野徳次郎氏来宅。

三月卅日

一、御主人在宅。

一、山田先生及代診来診。

一、昨日より畳の表替及大工二人にてゆか板仕返し。

一、東京ニ打電。

トラキヨアサブザイモクチヨ

センゴクミツグ アソウタキチ

ゴトウセンヲヨビダイセイコウヲシクシマスマスゴケンシヨウイノ
ル

トラキヨコウジマチクモトゾノチヨウ

ゲシヨウマサヲ アソウ

ゼイジコウロウオミコミワルケレハカエシタシヘン

一、午後八時安川敬一郎氏来宅。

三月卅一日

一、山田先生及代診来宅。

一、堀三太郎氏来邸。

一、茂田つや子氏入込。

一、午後五時御主人自働車にて御帰飯。

一、八分板六枚物三坪（十八枚）到着。

一、若主人昨夜一時来宅。今朝八時五十分発にて大牟田御出。

四月一日

一、山田先生二度来診。

一、大工二名ユカ板仕返し。

一、畳新座敷替へる。

一、北崎久之丞氏より御見舞として玉子素麺二箱到来。

一、桜の木植付る。

四月二日

一、山田先生来診。

一、賀一郎様診察の爲め河野先生来宅。

〔欄外〕河野先生。

一、大工二名ユカ板替。

一、畳屋来る。

一、午後三時若主人来宅。鶴原氏葬式ニ会葬。

一、石田梅窓氏来宅。御主人不在にて退出。

四月三日

一、若主人午前九時発にて御帰飯。

一、大工、畳屋来る。

一、大工ユカ板替へ及石炭ノ上の板替へ、井戸之前之竹替へ。

一、山田先生来宅。

四月四日 大工二人卓子修繕、水溜造り

一、山田先生来宅。

一、午後四時富代様、栄様御帰福。

一、午後三時若主人御来宅。鶴原氏追善会二行かれ、全五時（オートバ

イ）にて御帰飯。

一、三池炭坑より三井主人来る六日出福ニ付自働車貸與との相談あり。
早速本家ニ御尋して本家より直接御返事ありたり。

一、津屋崎番人社宅女中同道来宅。

四月五日

一、山田先生来宅。

一、賀一郎様溝口外科医院にて手術され大奥様、社宅奥様も同医院ニ御出。

一、午前十一時国永齒医者ニ御大奥様御出。

四月六日

一、御主人午前十一時四十分自働車にて御来宅。

一、午後中野氏外三人御来邸。

一、山内麻生御主人御来宅。

一、山田先生三度来診。

一、午後七時野見山奥様賀一郎様御見舞ニ御来宅。

四月七日

一、御主人午後五時自働車にて御帰飯。

一、午前松崎氏来宅。

一、午前上田氏ニ打電。

マツザキシ九ヒユク

一、一方亭内室仲居お梅見舞ニ来る。

四月八日

一、正午十二時八郎様、野見山御内室退出。

一、正午本家操夫人、太賀吉様来邸。

一、山田先生一回来診。

一、田山氏十二時にて別府え向け出発。

四月九日

一、梅田箱十九箇出来上り持参。

一、太賀吉様御帰。

一、大奥様、操奥様国永医師え行かる。

一、善五郎を本家え返し伊三郎浜の町え置く。

一、山田先生一回来診。

四月十日

一、山田先生一回来診。

一、夫人、操夫人国永医師え行かる。

一、夜十二時半頃舎宅義之介様来宅。一泊さる。

四月十一日

一、七時半頃米子様御出産の模様にて長谷川産婆来宅。九時半頃男子分娩。今淵博士来診。子供早出のため午后一時前死去された。

〔欄外〕伊藤博士、今淵博士。

一、伊藤博士も来診。

一、山田医師来診。

一、梶谷看護婦午前より入込。

一、午后一時半頃本家若主人様来宅。一泊さる。

一、丸三定助来宅。

一、万行寺様二人来宅。仏様え御教上げ夜退出。^(終カ)

一、本家より仏様御伺のため自動車午后二時四十分頃来る。

一、夜本家より長七来る。

四月十二日

一、午前十一時頃大隅有田広様来宅。

一、〃安岡乳母来宅。

一、〃瓜生長右衛門様来宅。

〔欄外〕今淵博士。

一、〃山田医師一回来診。

一、今淵博士来診。

一、長谷川産婆来診。

一、定助来宅。

一、仏様自動車にて午后一時半本家へ連れ帰らる。本家若主人、社宅主人、有田様、旧宅奥様同車。

一、大奥様国永院へ行かる。

一、安岡様泊らる。夜共進会見物。

四月十三日

一、山田先生来診。

一、長谷川様来診。

一、社宅御主人様午前中自動車にて御来福。

一、大奥様国永行。

一、㊦定助さん来宅。

一、山内奥様原様行。

一、山内奥様、山口氏共ニ共進会見物。

一、御主人様万行寺詣デ。

四月十四日

一、長谷川様来診。

一、大奥様国永医院行。

一、義太賀様及お仲さん午前九時汽車にて御帰飯。

一、柏木様及奥様、御令嬢様、御令孫様御来宅。御兄舞品頂戴す。

一、山内奥様原様行。

一、下女時津屋崎へ行く。

一、丸三定助来宅。

四月十五日

一、山内奥様午前九時にて御病院遊す。

一、麻生屋、瓜生様御内、酒屋御内御来宅。泊る。

一、長谷川様御来診。

一、山田先生来診。

一、大奥様国永医院へ行かる。

一、丸三定助さん来宅。

一、下女時帰宅。

一、下女たま里へ行く。

一、大工末村材木の事にて来宅。

四月十六日

一、麻生屋奥様、瓜生様奥様午前中御病院遊す。

一、丸三定助氏来宅。

一、本家下女えい来宅。

一、安武みね来宅。

一、黒瀬氏来宅。

一、長谷川産婆来診。

一、山田医師来診。

一、男伊三郎里へ行く。

四月十七日

- 一、午后二時半本家操奥様御来福。
- 一、社宅御主人様万行寺へ一時半頃ヨリ御詣り致され二時半頃御帰宅。
- 一、有田武雄様外御友人御来宅。
- 一、丸三定助氏来宅。
- 一、男伊三郎帰宅。
- 一、賀一郎様溝口医院へ行かる。

四月十八日

- 一、舍宅御主人十時頃梅谷氏会葬のため自動車にて御出かけ。十一時過頃御帰宅。
- 一、古奥様、操奥様十一時過頃より国永行。一時半頃御帰宅。
- 一、舍宅御主人二時頃より共進会见物ニ御出かけ。富代様、さかゑ様、はつ子、長七同様。
- 一、長谷川氏来診。
- 一、山田医師来診。
- 一、丸三定助氏二時頃より来宅。本家の計算をすます。八時退出。
- 一、さかゑ様水野旅館を御出かけ。一泊さる。

四月十九日

- 本家古奥様、舍宅御主人様午前九時頃より自動車にて本家へ御かへり。長七氏同様。
- 一、午前十時頃瓜生久、木村とめ様舍宅奥様御見舞の為め来宅。十一時半頃退出。
- 一、操一時半頃より国永行かる。病院林たね様御見舞へまわり四時頃帰宅。

一、午后別府名荷家お春氏来訪。

- 一、午后七時頃花村徳右衛門氏別府より飯塚帰途植木の件につき来宅。一泊。

一、長谷川氏午后来診。

四月廿日

- 一、操九時半頃より国永行。十一時半頃帰宅。丸三定助氏来宅。
- 一、吉川監十郎氏舍宅奥様御見舞のため来宅。一時半頃退出。
- 一、花村徳右衛門氏一時頃退出。
- 一、午后四時山内音次郎氏舍宅奥様御見舞のため来宅。一時間の後退出。
- 一、山田医師来診。

四月廿一日

- 一、午前十時頃篠田産婆来訪。
- 一、午前十一時半頃長谷川氏来診。十二時半退出。
- 一、操夫人二時前より停車場より国永行。
- 一、本家義太賀様、おなか博多着。二時廿四分にて来宅。
- 一、山内賀一郎様溝口医院行。
- 一、午前十一時頃かめ屋おゆき氏舍宅奥様御見舞のため来宅。一時頃退出。

四月廿二日

- 一、操十時頃より国永行。
- 一、別府名荷屋おはる氏来訪。
- 一、九時過頃山田医師来診。

四月廿三日

- 一、賀一郎様溝口医院行。

一、黒瀬元吉、丸三定助氏来宅。

一、山田先生宅新築祝と先生尽御祝とに⁽⁴⁴⁾反物二反と大鯛二枚遣す。

一、操十時半より国永行。十二時過る頃帰宅。

四月廿四日

一、九時前より操国永行。十一時少し前より三郎氏、二七日で万行寺へ義太賀、賀一郎氏、とも子参る。

一、吉川内舍宅奥様御見舞のため来宅。一泊さる。午后から共進会見物へ。

一、野見山米吉様来宅。

四月廿五日

一、舍宅御主人、太郎様自動車にて十一時頃来宅。中食後共進会見物へ御出かけ。太郎様午后五時頃からヲトバイにて飯塚へ御かへり(自動車はからでお供して飯塚へかへる。本家御主人夜別府より御帰との電話で)。

一、舍宅御主人福村行。

一、内ヶ磯御客様午后七時列車で退出。

一、夜筋田母堂来宅。一泊。

四月廿六日

一、山田医師来診。

一、二時頃筋田母堂様退出。

一、午后五時頃梶谷看護婦を返す。博多織帯地片側と金拾五円遣す(十六日間)。

一、午后安田清市氏夫婦舍宅奥様見舞のため来宅。直ちに退出。

一、長谷川産婆七円値帯式拾円遣す。

〔欄外〕(十一日間)

四月廿七日

一、賀一郎様溝口医院行。

四月廿八日

一、午前十一時頃太郎様開庁式のため出福。夜立寄。夜二時過頃退出される。

一、本家御主人様^{午後十二時}稲田博士受診のため来宅。午后七時頃より三宅博士宅^(マ)に何れ直様稲田博士受診。八時少し過頃御帰宅。

一、茂田看護婦来宅。

一、山田医師来診。

四月廿九日

一、御主人九時病院へ稲田、三宅博士受診のため御出かけ。十時過之頃御帰宅。午后七時列車で飯塚へむけ御出発。茂田^(田)お友なす。

一、太賀吉様七時着にて来宅。子供皆様停車場へおむかへに出かけになる。

一、よね様今淵博士受診。八時過之頃帰宅。

四月卅日

一、十一時頃上境占部のお様来宅。午后三時半頃退出。

一、午后四時頃有田広、大屋唯雄、金光寛様舍宅奥様御見舞のため来宅。六時退出。丸三定助随行なす。

五月一日

一、操、義太賀、太介十時頃より万行寺参詣。

一、松はやしが今迄になく沢山よる。

一、夕方野見山米吉様来宅。一泊さる。

一、米子様今淵先生宅多五時頃より御出かけ。六時帰宅。

五月二日

一、義太賀様、太郎様山田先生行遊れる。

一、社宅奥様午後四時頃より今淵先生へ御出かけ。五時半頃御帰宅。

一、午前九時頃野見山様帰り遊す。

五月三日

一、午後二時半頃本家若奥様、山内奥様、麻生屋奥様御一行自動車にて御着き遊す。

一、午后四時頃若松より郷古直枝様御着き遊し御一泊さる。

一、晩は操奥様、麻生屋奥様、栄様、富代様世界館行遊し、十一時半頃御帰宅。

一、山田先生御来診見ゆ。

五月四日

一、麻生屋、山内奥様外出。

一、本家若奥様（夏子）国永医院へ行かる。

一、十二時頃操奥様及太賀吉様、青柳さん一同は自動車にて御帰飯遊す。

一、山田先生二回御来診に見ゆ。

五月四日

一、夏子奥様午後国永^{（ふ）}行医院行。

一、郷古奥様午前十一時頃他へ御出浮遊され午後九時頃御帰宅遊し、十時頃御帰り遊した。

一、自動車太賀様乗せて午后来る。

一、麻生屋奥様及山内賀一郎様御母上御一同午前九時にて御帰飯遊す。

五月六日

一、社宅奥様及義太賀様、太介様外お仲氏、山口氏一行正后十二時の列車にて御帰飯遊す。

一、夏子奥様国永医院へ。

一、太賀様箱崎水族館へ行かる。

一、青柳看護婦午前五時二分の列車にて大主人看護のため別府行。

五月七日

一、大掃除をなす。蓋し十時検査なれはなり。

一、夏子国永行き。

一、太賀吉箱崎行き。

一、㊦定助来ル。

一、六時四十五分にて艶子、青柳のための別府より来る。

一、初本家え十時ノ列車でかへる。

五月八日 晴

一、昨夜本家よりの報にて団様午餐に御招待のよし。買物取揃え午前五時自動車は本家えかへる。

一、夏子国永医師行。

一、昨日の続き新座敷の大掃除施行。

一、夏子子供伴れ夕方共進会え。

五月九日 晴

一、夏子国永医師行。

一、自動車午後三時頃来る。

〔欄外〕一、山田医師来診（ふよ様）

一、栄屋旅館なる末永旅団副官のところに行き明日の打合せをなす。

五月十日 雨

一、朝八時自動車は警察署に行き今日閑院宮殿下御来福、当家車御用の事に付き打合せ。

一、艷様耳痛につき山田医師来診。

一、艷様河野耳鼻喉口科行き。

一、夏子国永医師行。全部終了。

五月十一日 曇

一、午前十時過宮様御送りのため栄屋迄で自動車行き。

一、艷様河野医師行。

一、四時三十五分の列車にて米子夫人御来福。

一、米子夫人今淵先生方行。

一、定助来る。

一、夕食後米子、夏子外出。

五月十二日 晴

一、米子夫人朝八時出発。自動車にて御帰飯。

一、艷子様河野医師行。

五月十三日 晴

一、艷子様河野医師行。

一、栄様学校修学旅行にて京都へ。

一、大御主人夕方自動車にて御来福。茂田看護婦、長七御供。

一、松崎弁護士来邸。

五月十四日 晴

一、艷子様河野医師行。

一、野田氏来邸。

一、大御主人のため山田先生来診。

一、長谷川産婆、梶谷看護婦来邸。

一、長七汽車にて飯塚へ帰ル。

一、四時半頃有田氏病氣につき戸早医師及御主人一行自動車にて御帰飯。

五月十五日 晴

一、艷子様河野医師行。

一、二時半頃義之介主人自動車にて御来邸。

一、三時頃義之介主人病院へ。四時半帰宅。

一、四時卅分列車にて夏子夫人、太賀様、艷様一行おかへり遊る。

一、義之介主人夕方外出。

一、草取女日役来タ（一日働ク）。

五月十六日

一、朝七時に義之介主人、有田広氏病氣につき三宅博士、戸早医師と一供（緒々）に自動車にて嘉穂へ。

一、草取日役。

一、男日役屋根のシツクイ及びかまどのわれていたところをぬらる。

一、黒頼（黒）来邸。

一、四時半頃三宅先生及び戸早先生御送り致し来邸。

一、午後七時頃たま山田医師のところへ行く。

〔欄外〕 田山先生別府より帰宅。

五月十七日

一、陸軍歩兵大尉末松俊造氏、河内旅団長及中島騎兵大佐之名刺持参にて閑院宮自動車御使用之礼ニ来邸。

一、午後三時戸早医師自動車にて有田広氏診察ニ行かる。

一、女日役一人草取りニ来る。

五月十八日

一、草取り二日役雇ふ。女一人。

一、十二時半の夜行列車にて栄様京都より御帰り。たま、とも停車場まで御迎二行く。

一、午後八時戸早先生御送りして自動車来る。

五月十九日

一、日役女二人草取り二雇ふ。

〔欄外〕 本家より汎送のフドー酒一本松崎氏ニ御見舞す。

一、午後四時若主人御来邸。直二一方亭ニ御出浮。

五月廿日

一、午前九時自動車一方亭若主人御迎して飯塚ニ帰る。

〔欄外〕 一、松崎氏病氣見舞として鯛二尾及エビ進上。

一、男日役一人雇ひ畑打ち茄子植える。

一、女日役二人草取り。

一、夕飯後おたま耳の痛みにて実家ニ帰る。

五月廿一日

一、午後二時社宅奥様来邸。五時今淵先生宅ニ診察二行かれる。

一、午後三時山田先生奥様診察のため来邸。

五月廿二日

一、午前六時発にて社宅奥様御帰飯。

一、大主人用菓子別府ニ送る。

一、日役女二人草取り。午後雨天にて休み。

五月廿三日

一、雨天にて日役休み。

一、午後富代様友人二人来宅。

一、家費報告本家へ送る。

一、古沢先生宅より美しき花頂く。

五月廿四日

一、日役草取り終り。

一、白国同情会寄附金のこと二つき愛国婦人会福岡支部評議員内田千代子氏外一人来宅。

五月廿五日

一、伊東氏方^(マツ)建築内祝として赤飯二重、蒲鉾取合せ九品頂く。

一、午後七時谷彦一氏夫人葬式之こと聞合せのため別府ニ電話。御主人不在にて返事ハ直接本家に打電されたる由。

一、病氣にて帰省のたま帰宅。

五月廿六日

一、飯塚十時にて若主人イチゴ御持参にて御出福の旨電話。

一、十二時三十分より高等女学校家庭連絡会ニ田山出席す。

一、本家よりの苺左の処ニ分配す。

伊東博士、稲田博士、県知事、高、野田、松崎、原、別府。

一、日役賃金払ふ。全部。

五月廿七日

一、御主人午後二時半御来宅。茂田氏同道。

一、御主人午後四時三宅博士宅ニ御出浮。同六時半稲田博士御宅ニ行かれ八時御帰宅。

五月廿八日

一、朝自動車参る。苺左之通り分配。

一、稲田先生、三宅先生、山田先生。

一、午後一時茂田氏御主人の大便秘参ニテ大学病院ニ行かれ、三時帰宅する。

一、午前梅谷氏、棚橋氏来邸。

一、午後伊吹氏来宅。

一、午後四時半御主人大学病院三宅博士及稲田博士室ニ御出。同七時御帰邸。

一、黒瀬氏来宅。

一、古物商菊池参る。幅物一幅マクリ御買求め。

五月廿九日

一、御主人御在福。

一、午前松崎氏来宅。

一、午後御主人小用試験之為め茂田氏病院福田博士室に行かれる。

一、午後二時半自動車バラ、アヤメの花を積みて飯塚ニ帰る。

一、夕方三宅博士令嬢二人来宅。

一、御主人午後三時黒瀬宅ニ行かれ、同四時半御帰邸。

一、黒瀬氏来る。

五月卅日

一、午前八時御主人三宅令嬢、令息、富代様、茂田氏自動車ニて飯塚ニ行かれる。

一、朝黒瀬、梅田来る。箱の注文す。

一、朝七時自動車飯塚より来る。

一、昨夜本家より主人宛之電信電話ニて聞く。

イマガワバシ、ミマ

ゴビヨウキゴケイカイナレバツキカワリシダイスグオイデキボウス
一、今朝七時返電。

トウキヨウシニホンバシクモトイシチヨウニチヨウメ

フシミヤカタ ミマギ一ロウ

デンシンハイシヨビヨウキケイクワニテセイヨウスルヨウイシヨリカ
ンコクアリ

ツキテワイシヨフエフミニテイサイオネガイシタヨロシクタノム

一、義太賀様、太介様、山口さん、お仲さん十二時二十分着ニて御来邸。
〔欄外〕午後六時富代様御帰宅。

一、本家より山本氏花苗買入之為来宅。

五月卅一日

一、自動車朝飯塚ニ帰り大奥様、社宅御夫婦自動車ニて午後五時半御来宅。

一、山田先生大奥様診察ニ御来宅。

一、社宅奥様今淵先生宅ニ診察ニ御出浮。

一、大奥様稲田先生宅ニ行かれて診察受けらる。義之助様御同道。
母分配

卅日 牧野、稲田さんへ野菜。

卅一日 榊、長野、谷田知事、戸早医師。

六月一日

一、午前八時半頃田山先生及び黒瀬自動車にて本家行。

一、午前山田先生御奥様御診察の為御来宅。

一、午後九三の定助来る。

一、午後四時五十三分の列車にて義之介主人、米子夫人、義太賀様御一

同飯塚へ御帰宅に相成りた。

六月二日

- 一、午前太介様山田先生御宅へ御診察受に行る。
- 一、午後二時列車に伊三郎別府行の野菜もちて折尾まで行く。

六月三日

- 一、艶子様耳病にて飯塚より青柳ため、すみ御供し福岡へ六時の列車にて来り、直ちに河野医院へ御診察に行かる。

六月四日

- 一、艶子様河野医院行。すみも今日より行く。

六月五日

- 一、艶子様河野医院行。すみも行。
- 一、今日は下女達に節句させた。

六月六日

- 一、艶子様河野医院行。すみも行。
- 一、夏子夫人及び太賀様艶子様見舞の為午前十時列車にて御来邸。夏子夫人は午後四時列車にて御本邸へ御かへり遊ばす。

- 一、午後より山口さんは太様つれ自宅へ行。

- 一、午後六時頃山田先生御奥様、太介様御診察の為御来邸。

六月七日

- 一、午前八時半頃から御奥様、太賀様、太介様、艶子様御一行箱崎神社から三角稻何神社^(舊)へ御参拝遊ばす。
- 一、正午〇時列車にて太様、艶子様御一行飯塚へ御帰り遊ばす。
- 一、今日は御奥様御誕生日なので富代、栄様と御料理へとり女中とも皆大いわいした。

- 一、今淵先生の御宅へ米子夫人御産の御礼に百五十円あげる。

六月八日

- 一、すみ河野医院へ行く。
- 一、とも法会につき里へ行く。

六月九日

- 一、すみえ河野医院行き。
- 一、茂田氏山同道別府より飯塚ニ立寄り帰福。
- 一、里帰り之とも午後帰宅。

六月十日

- 一、御主人自動車にて来邸。
- 一、行橋柏木氏宅より使の者来宅。一泊さる。
- 一、午後御主人柏木真静氏御病氣のことにつき大学病院ニ御出浮。
- 一、午後六時より御主人一方亭御出浮。

- 一、太賀吉様自動車ニテ箱崎八幡宮ニ参詣さる。

- 一、山田先生来宅。

- 一、山田先生来宅。

六月十一日

- 一、御主人御在福中。午後一時頃より一方亭御出浮。全八時御帰宅。
- 一、午後七時吉浦氏来宅。一泊さる。

- 一、柏木氏より来電。

イロイロゴウイヲシヤスラカゲニテミヤケハカセゴシンサツスミイ
マニナギラトモシテユキマシタ○ヨウダイシダイニヨロシゴアンイヲ
コウ

六月十二日

- 一、午前九時御主人、御奥様、太賀吉様、青柳氏太宰府へ参詣され、十

二時御帰宅。

一、棚橋氏来邸。

一、午後吉浦氏、青柳氏実家へ。清酒及お茶の品々持参せらる。

一、午後五時大奥様、太賀様、吉浦氏、青柳氏自動車にて飯塚ニ御帰宅。

一、黒瀬氏、定助来宅。

六月十三日

一、御主人御在福。

一、午前伊吹氏来邸。

一、御主人午後一時栄屋御出浮。六時御帰宅。

一、常盤館より料理来る。

一、黒瀬伊八来宅。

六月十四日

一、御主人午前九時三十分公会堂御出浮。午後六時半一方亭ニ行かれ十

二時半御帰宅。

一、午前伊吹氏来宅。

一、松永氏来邸。

六月十五日

御主人午前九時公会堂御出浮。御帰宅五時。

一、午前七時松永氏来宅。

一、菊地、黒瀬来宅。

一、午後六時半より公会堂御出。十時御帰宅。

六月十六日

一、御主人午前九時公会堂御出浮。午後四時九水重役会ニ御立寄、其より一方亭ニ。御帰宅十一時半。

一、扇風器取付。

一、峠氏夫人大学病院ニ入院中にて御見舞として玉子素麺三箱茂田氏持行かれる。

一、朝菊地、黒瀬来宅。

六月十七日

一、御主人午前十時自動車にて茂田氏同道御帰飯。

一、峠夫人病氣見舞として伊万里角花生ニバラの花添へ進呈す（茂田氏持行かる）。

一、常盤館より果物一籠貰ふ（昨夜催された後援会ニ御出席諸氏ノ為送ること）。

六月十八日

一、本店長岐氏より造花頼み之電話かゝる。

一、行橋柏木様より三宅博士診察願のことにて山内奥様と御話した。

一、社宅奥様より頼み之ミシンの先生の許ニ菓子折届る。

一、社宅より羽織帯洗張り之小包着く。早速桑野ニ洗ニ遣す。

一、来る廿日三宅博士柏木氏来診のこと行橋ニ報知す。

六月十九日

一、午後七時柏木様方蜷木氏帰宅。一泊さる。

一、夕食ニハ栄様、富代様の御料理あり。

六月廿日

一、朝蜷木氏退出。

六月廿一日

一、午後七時義之介様来邸。

一、丸三定助来宅。

六月廿二日

一、義之介様御在福。

六月廿三日

一、午前九時にて義之介様御退邸。

一、御主人午後六時自動車にて御来宅。

一、店員福沢氏来宅（麻生屋より栄さんニ金子ことつかつて）。

一、午後七時半御主人稲田博士宅ニ御診察受らる。

一、黒瀬、定助来る。

六月廿四日

一、御主人御在福。

一、山田先生来診。

一、御主人便物稲田博士宅ニ茂田氏持行かる。

一、午後一時半御主人原氏宅ニ貝嶋様と御面会之為め御出浮。午後六時半御帰宅。

一、左の処ニ打電。

トウキヨウニホンバシクコアミチヨウ三チヨウメ
デユウシユウスイリヨク
デンキガシキガイシヤ（タナハ
シタクノジヨウ）

本文 マタチヨウカタルニカカリリヨウヨウチユウケフタテヌ○キケ
ンノヒキマリタラシラセコウ

受信人 トウキヨウニホンバシクスキヤチヨウシマヤカタ

ナカノトクジロウ

本文 オタチノチマタチヨウイカタルニナリイナダシニツキリヨウヨ
ウチユウケフタテヌ

受信人 チヨウセンケイジヨウタクシヨクカイシヤ

ノダウタロウ

フミミタキンジツヒトヤリナヲオキシテソノウエニテイナヤケツシ
タシソノヲフクミコウ

一、午後二時中野氏より来電。

ゴビヨウキナレバシカタナケレドワダシモキカライデマツナルベクラ
イデマツ

一、午後七時返電。

東京市日本橋区数寄屋町嶋屋方中野氏宛

デンミタセンジヨノヒツヨウアリサンヨツカタタレヌヨクナレバラシ
テノボリマス

一、午後四時伊吹氏より電話かゝりたれど御主人御不在にて九時又電話
ありたり。

六月廿五日

一、御主人午前十時半より一方亭御出浮。午後十二時御帰宅。

一、福沢氏来宅。

六月廿六日

一、山田先生来診。

一、御主人午後二時一方亭御出浮。

一、棚橋氏より来電。

ヲラヤマガワテウサニチヤクシユスルコトニデユウヤクカイケツギセ
リ

返電

デンミタゴケツギヨロコブ

一、棚橋氏より来電。

〔二行空欄〕

返電

デンミタゴハイリヨウヲシヤス

六月二十七日

一、御主人御在宅。午後七時三宅博士宅ニ御出浮。

一、午後三時野見山氏来宅。

一、自動車来る。

一、午後十一時伊吹氏来邸。御主人と御面談之後一泊さる。

一、菊地来宅。全氏より鉢植貰ふ。

一、梅田円太郎母死去ニ付香典黒瀬氏ニ依頼す。

六月廿八日

一、御主人午後一時大病院にて三宅博士より診察受らる。茂田氏同道。

一、午前十時半野見山氏来邸。十二時長崎ニ向御出発。

一、午前九時伊吹氏退出。

一、午前七時半自動車飯塚ニ帰る。(幅物古物) 積む。

一、伊三郎本家ニ行く(自動車にて)。

一、おすみ飯塚ニ帰る(全)。

一、山田先生来診。

六月廿九日

一、御主人午後四時松崎氏宅ニ御出。二時間後御帰宅。

一、午後三時野見山様、義之介様長崎より帰途御来邸。野見山氏八四時に急行にて門司へ御出。

一、三宅博士宅ニ御礼と鯛進呈す。

六月三十日

一、御主人終日御在宅。

一、午後七時帆足氏来宅。

一、午後二時守永氏来邸。

一、柳原花屋より植木三株持参す(キンシュバイ)。山吹一株十五銭にて六十株と朱蘭買入の約束ありたり。

一、義之介様御泊り。

一、自動車午後十時来る。

一、今日より女日役草取りニ雇入。

七月一日

一、御主人午前六時自動車にて御帰飯。

一、義之介様午後四時博多発にて内ヶ磯ニ向御出発。其旨吉川氏宅操様ニ打電。

一、黒瀬幅物代金拾五円渡す(御主人之御申付にて)。

一、桐箱二拾二個梅田ニ注文す。

一、日役草取り。

七月二日

一、午後三時義之介様守永氏同道にて御来邸。同三時半御退出。

一、日役草取り。

一、洗張り数反義之介様ニ托して本家へ送る。

七月三日

一、黒瀬修繕物持来る。

一、久保太郎氏来宅。御主人御留守にて退出。

七月四日

一、記事なし。

七月五日

- 一、午後三時義之介様御来邸。全四時半頃公会堂より常盤館ニ御出浮。御帰邸十一時。金光様御同道にて一泊さる。

七月五日

- 一、午前九時義之介様、金光様、定助御退出。
- 一、博多十二時発鉄道便にて別府ニ玉子煎餅送る。
- 一、古沢先生宅之男子御出産二つき着物一枚と中鯛二尾進上。
- 一、丸三から富代様の洋傘と梅村さんの袴持参。

七月八日

- 一、麻生観八氏より柚煉三箱小包にて到着。

七月九日

- 一、午前十時半夏子夫人、太賀吉様、青柳氏自動車にて御来邸。
- 一、午後一時山田先生来診（太賀様眼病ニ歯痛）。
- 一、午後三時御一同自動車にて眼科医及歯科医へ診察のため御出浮。
- 一、夏子奥様今淵博士ニ診察受らる。
- 一、三宅博士宅よりカステイラ一箱（一釜半入）頂く。

七月十日

- 一、午後三時太賀様自動車にて眼科、歯科御出浮。
- 一、午後十時半本家若主人御来邸（オートバイニテ）。自動車若主人御迎ニ途中まで行く。

七月十一日

- 一、午前九時今淵先生宅ニ御礼伊三郎持行く。
- 一、太賀様眼科、歯科医ニ御出。
- 一、午後二時若主人御夫婦自動車にて御帰飯。

- 一、山田先生太賀吉様診察之為来宅。

七月十二日

- 一、太賀様疋田医院及国永医院御出。
- 一、午後八時自動車来る。

七月十三日

- 一、午前太賀様国永歯科医ニ御出。眼科ハ昨日にて終りた。
- 一、本家若奥様方之御注文塩煎餅と玉子煎餅及別府より之御頼品小サジ一打鉄道便にて別府御滞在の大奥様あてニ参る。
- 一、自動車午後一時三宅博士御迎して有田氏宅ニ行く。
- 一、自動車ニ挖して左の品本家ニ送る。
- 一、明人^充明書幅 一幅
- 一、不川大山書幅 双幅
- 一、鉄州達磨幅 一幅
- 一、古賀書幅 一幅
- 一、旭莊書幅 一幅
- 一、山陽書幅 一幅
- 一、広瀬書幅 一幅

ノ八幅 右代価十五円濱の町立替。

受取証ハ本家ニ幅と共ニ送ル。

- 一、本家より注文之品送る。

ミシン針、檸檬、絹カワサ、ウスバ

- 一、精洋亭より暑中見舞として扇子及アイスクリーム持参す。

七月十四日

- 一、太賀様午前十一時国永歯科医ニ御出浮。十二時帰らる。

一、夕飯後太賀様、富代様外一同海水浴をなす。

七月十五日

一、太賀様国永医院にて歯うめ終らる。

一、午後七時自動車にて太賀様御帰飯。

一、疋田眼科医ニ太賀様薬価及お礼伊三郎ニ持たせ遣す。

一、桐箱十四個出来上る。

七月十六日

一、午前十時自動車来る。

一、筑後磯山氏来宅。本店ニ電話かけて退出。

一、神代病人診察見合せのこと大学病院三宅先生室ニ田山行きて御伝へす。

一、夕方三宅先生宅ニ行き神代御出之こと御願す。

七月十六日

一、午前七時半自動車帰飯(煎茶茶碗左の通り挖す)。

一、染付煎茶人物画 十 観音様 一

蕙色煎茶 五 染付煎茶 小五

染付煎茶 大五 南京染付煎茶 五

渡物煎茶竹模様入 五 染付煎茶 五

染付煎茶 五 白煎茶 五

染付煎茶 五 染付蓋置 一

染付煎茶舟ノ画入 五 染付煎茶菊ノ画 五

染付煎茶 五 染付煎茶魚ノ画 五

瑠璃内白煎茶 五 染付煎茶梅の画 五

曆出清渡煎茶 五 赤絵煎茶 五

染付煎茶 五 染付煎茶 五

取合せ煎茶 一七 ジュズ 二

一、朝三宅博士神代御出見合のこと。田山御宅ニ行き御断する

七月十九日

一、御主人、操夫人、茂田氏来宅。自動車にて。

一、棚橋氏来宅。

一、松崎氏及倉智氏来宅。

一、山田先生操夫人診察のため来邸。

一、義之介様来宅。

七月廿日

一、御主人、操夫人、義之介様大学病院へ有田氏御見舞ニ行かる。

一、御主人午前十一時頃病院より直ニ一方亭ニ御出浮。

一、山田先生来宅。

一、義之介様夜行にて肥前久原へ向け御出発。

一、日役雇ふ。

七月二十一日

一、御主人終日御在宅。

一、九水川嶋氏来宅。

一、午後七時御主人及操夫人自動車にて御帰飯。

一、黒瀬来宅。

一、日役軒下掃除ニ雇ふ。

一、井戸さらへする。

一、鳥越氏昨夜泊り。午後二時退出。

一、山田先生来診。

七月廿二日

一、御主人お羽おり、操様揚子黒瀬氏ニ挖して本家へ送る。

一、日役雇ふ。

七月廿三日

一、桐箱四個出来る。

一、和田豊治氏御令奥御病気全快の祝として菓子一箱、鯉節一箱到来。

一、聖福寺住職暑中伺二来宅。

一、義之介様久原より御帰途大病院ニ立寄られ午後四時にて御帰飯之旨電話ニ付、本家送り菓子停車場まで持たせ御願した。

七月廿四日

一、山内縫子夫人より御注文之白味噌二貫目柏木様へ鉄道便にて送る。

一、御主人午後十一時御来宅。

七月廿五日

一、御主人午後三時より一方亭御出浮。

一、午後四時自動車来る。

一、日役雇ふ。

一、本家より家費郵便にて来る。

一、午後十一時御主人野見山様御同道にて御帰宅。

七月二十六日

一、御主人午前六時自動車にて御帰飯。

一、午前九時頃より松崎氏来宅。午後二時退出。

一、野見山氏御在福。

一、午後本店より上田氏来邸。

一、午後二時長崎古賀氏来宅。

一、午後八時半本家より電話にて左の電報御通知ありた。

アソウタキチ キユウスイ

ヲライタスイリヨクカブノケンシキユウゴソヲダンイタシタシニ九ヒ

マデライデコウヘンマツ

返電

東京日本橋区小網町三丁目九州水力電気株式会社棚橋氏へ 麻生

デンミタジヨウキヨウシマス

一、午後三時頃御主人、大奥様、社宅奥様、義ちゃま、太ちやま自動車にて御来邸。

一、午後四時御主人野見山氏御同伴一方亭御出浮。午後十一時御帰宅。

一、午後八時大奥様稲田博士御宅ニ診察受けニ御出。社宅奥様御同伴。

一、午後五時茂田さん、山口さん、お仲さん汽車にて来宅。

七月廿七日

一、義之介様御来宅。

一、午後四時若主人来邸。

一、午前九時梅谷氏及川嶋氏来宅。

一、御主人午前十一時より一方亭御出。

一、古賀氏外一人及松崎氏、上田氏来邸。野見山氏と御話ありて昼食後退出さる。

一、義之介様御夫婦午後大病院御入院の有田広氏御見舞なさる。

一、午後本家若主人出福。

七月廿八日

一、梅谷氏、上田氏来宅。

一、午後四時発にて御主人御上京。

一、義之介様御夫婦病院へ御見舞。

一、野見山氏来宅。二時間後退出さる。

〔欄外〕山田先生来宅。

一、古沢先生宅より御子様御祝の菓子、鯉節頂く。

七月廿九日

一、若主人午前十一時古沢先生同道自動車にて本家へ帰らる。

一、午後十時半古沢先生送りて自動車来る。青柳氏も同車。

一、山田先生来宅。

一、午後五時義ちやま、太ちやま箱崎八幡宮ニ御参詣。

七月三十日

一、義之介様病院へ御見舞。午後奥様も。

一、午前長七来宅。

一、古沢先生来邸。

七月三十一日

一、午前吉浦氏来宅。

一、午後七時より梅村氏結婚式を当邸にて挙げらる。

八月一日

一、青柳さんの兄さん方よりまんちう頂く。

一、稲田博士宅より建築内祝として鯉節一箱頂く。

一、吉浦氏帰飯。

八月二日

一、午前九時富代様、栄様暑中休暇にて本家ニ帰らる。

一、午後十二時半御主人東京より御帰りニ御立寄。五時間の後ち自動車

にて御本邸ニ帰らる。茂田氏、青柳氏同車。

一、梅村さん夫婦初里行にて鯛まんちう進呈。

一、青柳さんから鯉節一箱頂く。初里行之土産。

一、午後四時操奥様来宅。

八月三日

一、義之介様、操、米奥様有田氏御見舞ニ行かる。

一、昼の弁当大学病院へ伊三郎持行く。

一、本家より家費操奥様持参せらる。

八月四日

一、山田先生来宅。

一、義之介様御夫婦及操奥様大学病院へ近角先生之講話聞ニ御出浮。

八月五日

一、山田先生来診。

一、午後前日同様近角先生講話聞ニ大学へ御出浮（御三人）。御帰宅午後五時四十分。

一、午後七時義之介様、御奥様、義太賀様自動車にて御帰飯。

一、原庫次郎氏宅へ中元として葛素麵一箱進呈（代価一円五十銭）。

八月六日

一、午前十一時早稲田大学幹事田中唯一郎氏外一名大主人訪問されしも本邸之旨申たら直ニ退出せらる。

一、三宅博士宅へ中元として反物六反進呈（代価九拾七円二十銭）。

一、大御主人及つや様、茂田氏自動車にて午後七時之来宅（御主人山田医者ニ診察受らる）。

一、午後七時伊藤老母同道福岡氏来邸。

一、太七郎様来宅。

八月七日

- 一、山田先生来宅。
- 一、大主人御在宅。
- 一、朝福岡氏帰飯。
- 一、午後五時操夫人及太七郎様自動車にて御帰飯。
- 一、三宅博士宅より中元として岐阜行灯頂く。
- 一、梅谷氏来宅。

八月八日

- 一、大主人終日御在宅。
- 一、山田先生来診。

八月九日

- 一、山田先生来宅。
- 一、朝梅谷氏、渡辺氏来邸。
- 一、御主人及太介様自動車にて御帰飯。
- 一、御主人綿入羽おり表丸三定助ニ洗張り頼む。
- 一、伊藤御老母中野氏宅ニ行かる。
- 一、山田先生宅へ菓価及謝礼呈す。
- 一、古沢先生ニ謝礼。

八月十日

記事なし。

八月十一日

- 一、午後五時御奥様、つや様、伊藤御老母、有田御母堂御同伴自動車にて御帰飯。

八月十二日

一、朝田山先生は墓参の為久留米行。

一、夜九時自働車にてツヤ子様、梅村令夫人及ための来福。直に山田先生宅を受診に行かる（艶子様）。

八月十三日

- 一、正午十二時大病院内三宅先生へ受診に行かる（つや子様）。
- 一、午後七時半三宅先生宅へ艶子様受診行かる。

八月拾四日

一、正午拾式半^(マ)大学医院内三宅先生へ受診に行かる（艶子様）。

八月十五日

一、午拾一時頃^(マ)つや子様は三宅先生の宅に受診に行かれました。

八月十六日

- 一、午前十一時頃艶子様山田先生宅へ受診に行かる。
- 一、午前五時自働車帰飯。

八月十七日

- 一、午前九時頃つや子様山田先生へ受診に行かる。
- 一、つや子様、ための、梅村夫人十二時の汽車にて本家へ御帰宅。

八月十八日

- 一、午前十二時御主人、義之介様、茂田氏自動車にて来宅。
- 一、御主人午後二時頃より福村家ニ宴会ニ御出浮。
- 一、義之介様午後五時半常盤館にて宴会。

一、午後二時半田山帰福。

一、午後二時半田山帰福。

八月十九日

- 一、午前十時より九水重役会を催さる。棚橋氏、梅谷氏、麻生氏、渡辺氏外一名御来宅。午後四時退出。

- 一、御主人午後五時病院へ有田氏見舞二御出。
- 一、実印書留小包にて本家へ送る。

八月二十日

- 一、午前九時頃北崎様御来宅。
- 一、午前九時半頃松岡様御来宅。
- 一、十二時有田様、棚橋様御来宅。
- 一、黒瀬様、梅田様御来宅。
- 一、午後四時自働車にて御主人、茂田看護婦、田山様本家御帰宅。

八月二十一日

- 一、梅田様たんす持参さる。
- 一、午後鉄道便にて薬を送る（本家へ）。

八月二十五日

- 一、午前十一時よね子奥様、太七郎様自働車にて御来宅。
- 一、午後一時半大病院内まさゑ様御見舞へ行かる。
- 一、午後四時四十四分の汽車にて義之介様御来宅あり。五時半奈良屋町へ御会葬へ行かる。
- 一、午後山田先生御来診。
- 一、午後八時半義之介様、同夫人自働車にて御帰飯。

アソウタキチ アソウ

マツサキシココ四ジニテタ・デマシタ

八月二十六日

- 一、午前八時半頃山田先生御来診。
- 一、同時稲田先生御来診。
- 一、午前山田先生御来診。

- 一、午後四時頃御奥様、よね子奥様、義太賀様、太助^全様、山口様自働車にて御来宅。なか子さん汽車にて来宅。

- 一、午後山田先生御来診。

- 一、午後五時半頃よね子様大学病院へ御出。

- 一、午前九時横山さん御出になる。

- 一、同十一時太七郎様、看護婦来宅。

八月廿七日

- 一、山田先生午前午後来診。
- 一、夜稲田先生御来診。

- 一、午後十一時三宅先生御来診。午後義之介様御来邸。

八月廿八日

- 一、御主人様及茂田氏午後十二時半別府より御出福。
- 一、稲田博士、三宅博士御来診。
- 一、山田先生二度御来診。
- 一、代診一度来診。
- 一、午後七時山別府より帰宅。

八月廿九日

- 一、山田先生二度来診。
- 一、朝三宅博士来診。

- 一、午後一時麻生彦三郎氏別府より御主人様二用件にて来宅。四時急行にて別府二行かる。

- 一、午後四時急行にて御主人様及茂田氏飯塚二御帰宅。

- 一、武藤看護婦帰る。其変り二一人入込。

- 別府上田氏ニ打電。彦三郎氏名前にて。

四ジタツ○テンシユイツカニカエラル

一、大分県日田郡日田町森千造氏へ打電。

ゴソボサマノゴシキヨヲカナシムツツシミテオクヤミモウシアゲ

八月卅日

一、山田先生朝夕二度来診。

一、午前九時稲田博士御来診。

一、午後六時三宅博士御来診。

一、午後十二時二十分着にて富代様飯塚より御帰福。太賀様、青柳さん御一緒にて御来宅。午後四時にて太賀吉様御帰飯。

八月卅一日

一、山田先生二度御来診。

一、午後義之介様御夫婦病院へ御見舞ニ行かる。

一、午後六時有田広様御来宅。

九月一日

一、午前五時発にて義之介様御帰飯。

一、有田広様御内より鯛一尾、かに御見舞頂く。

一、午後六時三宅博士御来診。

一、山田先生二度御来診。御主人の□の羽おり本家へ送る。

九月二日

一、山田先生二度御来診。御主人様の本場の単衣本家へ鉄道便にて送る。

九月三日

一、山田先生二度来診。

一、午後野見山氏御来宅。

一、午後七時大奥様自動車にて御帰飯。

一、古沢先生午前五時より飯塚ニ御診察之処午後自動車にて御帰福。

九月四日

一、午後六時三宅博士、山田医師来診。

一、午後五時四十分野見山氏及幡次郎氏御来宅。野見山氏ハ七時にて岩崎へ帰らる。幡次郎氏ハ当分御養生あるはず。

一、女中おしげ入込。

九月五日

一、山田医師来診。

一、社宅奥様、富代様、御子様同道。赤司ニ花取ニ御出浮。

一、午後七時野見山奥様幡次郎氏御看護之ため御来宅。

一、黒瀬氏来宅。

九月六日

一、山田先生御来診。

一、金光若夫人来宅。

九月七日

一、山田先生朝夕来診。

一、社宅奥様午前八時三十分胃液試験之ため大学病院稲田博士部屋ニ御出。

一、前の家畳替へをする。

九月八日

一、山田先生来診。

一、鳥越氏来宅。

九月九日

一、午前野見山氏来邸。

一、山田先生来宅。

一、午後六時三宅博士、山田医師来診。

九月十日

一、朝八時半野見山氏退出。

一、山田医師来診。

一、午後八時社宅主人来宅。

一、表の家修繕のため大工二人雇入。

一、高木氏表家二人込。

一、おたま昨夜より暇乞。下ノ関病人見舞二行く。

一、本家へネル緋送る。

一、午後十二時半太賀吉様御来宅。義太賀様、太介様停車場まで出迎さる。午後国永氏二診察。

九月十一日

一、山田先生二度来診。

一、夕方三宅博士野見山氏診察之為め来宅。

一、瓜生氏見舞二来宅。

一、午後一時太七郎様入院さる。社宅御夫婦御同伴。

一、午後四時二て社宅若主人門司へ御出。夜行列車二て御帰福。

九月十二日

一、午前十時本家若主人野見山氏同道自動車二て御来宅。

一、午後太七郎様見舞之為め本家若主人、社宅御夫婦病院二御出浮。五時半御帰邸。

一、午後八時三十分本家若主人及社宅主人自動車二て御帰飯。

一、野見山氏午後三時御退出。おたま帰る。

一、山田先生来診。

九月十三日

一、午後太賀吉様国永氏方二御出浮。

九月十四日

一、山田医師来診。

一、社宅奥様午前八時より大学病院二て胃液取られたる後稲田博士部屋二て御診察受らる。

一、太賀吉様、義太賀様箱崎御参詣。

一、午後太賀ちやま国永歯科二御出浮。

九月十五日

一、午前十一時大奥様自動車二て御出福。

一、午後大奥様、太賀ちやま、義ちやま、太七郎様御見舞のため大学病院二御出浮。

一、太介様、山口さん、おたま放生会参詣。

九月十六日

一、御主人午後十二時四十分東京より御帰途御来宅。坊ちやま御三人停車場まで御出迎。

一、山田先生来診。

九月十七日

一、御主人様、太賀ちやま、義ちやま午後一時自動車二て御帰飯。

一、午前博多毎日新聞社長来宅。

一、御主人御帰り後左の電報来る。電話二て本家へ御報知す。

東京高橋

ヲライタデウヤクホケツセンキヨワキクンナカノアソウカンハウメタ

ニタナハシ五シヲトリシマリヤクタキムラエトウシヲカンサヤクニセ
ンキヨノコトニシタシシヤテウワカエリテソウダンシタシカイギセキ
ゼウホツキシヤヲキメヲキコウ○コノサイシヤインイカノセウキウナ
スモヨウマタイカナルケイヤクヲナスカモハカラレザルニヨリゴチウ
イタノム○ケウタテヌアスノヨテイ

東京タナ

ヲライタシヤツカンヒ七センヨエンソセウヒ四センエンソウカカリヒ
四マンヨエンヲコテイシサンニクミヨキヤトコダイラヲシテキキ
ニキタレドケツサンモンダイニタチイルナトヘンシヲケリヲフクミコ
ウ

一、病氣にて里帰りのおとも帰福す。

九月十八日

一、大奥様病院二見舞二御出。

一、山田先生来診。

一、三宅博士野見山様診察之ため御来宅。

一、大御主人様門司四時発二て御来宅。直二一方亭二御出浮。

九月十九日

一、大主人九時頃一方亭え行かれ、河井氏夫妻、小林夫妻外数名にて本
家行。

一、太郎様午前五時にて御帰飯。

一、野見山様主人と同じ。

一、ふよこ様、さかえ様病院御見舞はれたり。

九月廿日

午後壹時頃野見山様、同奥様御同道御来宅。

午後四時半山田先生御来診。

野見山若主人、富代子様受診せらる。

午後五時稲田先生御来診。

若奥様、野見山若主人受診せらる。

太介さま病院え御見舞に行かる。山口氏御供して。

太七郎様明後日愈々手術確定せりとの通知来る。

九月廿一日

一、正午拾二時野見山様御帰飯遊さる。

一、午後二時四十分大奥様野見山奥様御同伴にて病院え御見舞に行かれ、
夕六時半頃御帰宅遊ばさる。

一、午後七時過ぎ本家若御主人様、社宅御主人様、義太賀様御同伴にて
御来宅遊ばさる。また操夫人も御同伴なりき。七時半頃操夫人腹痛の
ため山田先生の許へ受診の為め行かる。

九月廿二日

一、午前八時若御主人様社宅御主人様御同伴にて太七郎様手術の為病院
え行かる。

一、九時過ぎ大奥様野見山奥様御同伴にて病院え行かれ、正午十二時御
帰宅遊ばさる。

一、午前八時半山田先生御来診。操夫人、野見山若主人様及太介様受診
せらる。

一、午後壹時頃三宅博士御来診。操夫人、野見山若主人受診せらる。

一、午前十時頃本店福岡氏来宅。

一、午後二時や、過る頃自働車にて大奥様、若主人様、福岡氏病院え向
け御出浮遊ばさる。其自働車は飯塚吉田様へ行るべき稲田先生を送ら

むがためなりき。若主人様、福岡氏、稲田先生の御供して飯塚まで行く。
かる。

正午十二時半及午後六時山田先生御来診。

午後七時頃吉川氏御来宅。

一、夜に入りて大奥様、富代子様病院より御帰宅と共に有田様御来邸。

丸三定助氏来宅。

春吉より操夫人付看ご婦来る。

午後九時半若主人様自動車にて御来邸。

九月廿三日

一、午前九時頃より大奥様野見山奥様御同伴にて病院え見舞に行かる。

一、山田先生午前一回、午後一回来診せらる。

一、午後五時半三宅博士来診せらる。

一、午後三時頃より若御主人様病院え御見舞に行かる。

一、午後零時頃社宅御主人様病院より御帰宅遊ばさる。

一、午前吉川様御退邸遊ばさる。

一、午後九時山田先生御来診（野見山様の許え）。

一、九時過ぎ社宅御主人様病院え御見舞に行かる。

九月廿四日

一、午前社宅御主人様病院え御見舞に行かる。

一、山田先生二回来診せらる。

一、午後四時の汽車にて本家若御主人様四時の急行にて御帰飯。

一、午後社宅奥様病院え御見舞に行かる。

一、夜に入りて古沢夫人御来宅。

九月廿五日

一、午後福岡氏稲田博士御迎のため御出福。

一、午後大奥様病院へ御見舞に行かる。社宅御主人様昨夜より引続き病院にて午後一寸御帰邸。一時間後病院二御出ある。

一、占部御夫人、操奥様御見舞二御来邸。

九月廿六日

一、午前十一時御奥様、社宅御主人、茂田氏同道御帰飯。

一、午後柏木氏代人御見舞のタメ来宅。若奥様御二人、太七郎様へ御見舞として菓子頂く。

一、三宅先生来診。

一、富代様、栄様病院へ御見舞二行かる。

九月廿七日

一、義ちやま病院へ御見舞二行かる。

〔欄外〕稲田博士社宅奥様御診察のため御来宅。

一、社宅御主人午後二時にて御出福。停車場より直二病院へ御出遊ばさる。夕方御来邸。夕飯後病院二御出。

九月廿八日

一、午後一時操奥様御入院遊ばさる。

一、午後六時占部奥様御退出。

一、旭博士野見山様御診察のため御来邸。

一、社宅御主人夕方病院より御来宅。

九月廿九日

一、午前拾時にて社宅御主人御帰飯。

一、太介様病院二御見舞二行かる。

一、山田先生御来診。

九月三十日

- 一、午前一時夜行にて野見山御主人様御出福。
- 一、義太賀様病院ニ御見舞ニ行かる。
- 一、山田先生来診。

十月一日

- 一、山田先生来診。
- 一、午前九時野見山御主人様御退出。
- 一、午後七時夏子夫人御来宅。義ちやま、太ちやま、富代様停車場まで御出迎。

十月二日

- 一、山田先生来診。
- 一、夏子夫人病院へ御見舞ニ御出遊ばさる。

十月三日

- 一、若主人及社宅御主人別府より御来宅。午後四時頃より病院へ御立寄之後お苑ニ別府氏御招きあそばさる。御帰宅十二時。
- 一、午後四時夏子夫人御帰飯。おしげ御伴。
- 一、女中おすみ入込。
- 一、富代様病院へ御見舞。
- 一、若松佐伯氏御見舞の為め御来邸。
- 一、松崎氏令息御死去ニ付花輪（代価）及香典（百円）伊三郎二持たせ御仏前ニそなふ。

十月四日

- 一、社宅主人午前九時別府氏見送り。全列車にて下ノ関御出。
- 一、若御主人九時別府氏見送り。帰途病院へ御出。午後一時御帰宅。

一、午後三時御主人、野見山様、瓜生氏自動車にて御来邸。

一、御主人及若御主人午後四時半より松崎氏令息之葬式ニ御会葬。

一、御主人様夕食後福村家ニ御出。

一、午後四時佐伯氏来邸。

一、稲田博士社宅奥様御診察のため午後五時御来宅。

十月五日

一、午前十時半大奥様、酒屋、瓜生氏夫人御見舞のため自動車にて御来宅。

一、麻生屋様、麻生八郎様御来宅。午後四時にて御退出。

一、午後八時御主人、酒屋、瓜生夫人自動車にて御帰飯。

一、午前十時野見山様、若主人門司ニ御出。

一、山田先生来診。

一、小倉守永御夫人、古川御夫人御来邸。直ニ御退出。

十月六日

一、山田先生来診。

一、午後筋田御老母様御来邸。

一、大奥様、野見山御内室様午後病院御出。

十月七日

一、山田先生来診。

一、吉川御内室様御来邸。昼食後病院ニ御出浮。

一、占部御内室様病院より御来宅。

一、社宅御主人様御来邸。

十月八日

一、山田先生来診。

一、午前社宅御主人自動車にて早良郡へ御出浮。御帰宅後栄様同道病院
二行かる。

一、午後大奥様野見山夫人病院二行かる。

一、太七郎様午後四時退院さる。

一、社宅御主人七時半自動車にて御帰飯。

一、佐伯奥様御来宅。

十月九日

一、午後山内奥様よし子様同道御見舞のため御来宅。

一、山田先生来診。

一、夕飯後大奥様御見舞客同道川又座二御出。

十月十日

一、午後六時大御主人様、若主人、義之介様自動車にて御来邸。

一、吉川様御来宅。

一、大奥様、野見山奥様病院へ操様御見舞される。

一、夜若御主人、社宅御主人、太七郎様病院へ。

十月十一日

一、山田先生来宅。

一、午前九時より操奥様御手術にて御主人様はじめ皆様病院へ御出遊ば
さる。

一、麻生屋様御来宅。

十月十二日

一、朝御主人様、大奥様病院へ御出。

一、午後六時御主人様、野見山様、麻生屋様自動車にて御帰飯。若御主

人も御同伴。

一、山田先生来診。

十月十三日

一、午前十一時筋田御老母様、山内奥様、吉川様御退出。

一、山田先生来診。

一、午前大奥様病院へ。午後野見山奥様、富代様御見舞二行かる。

一、太七郎様病院へ御泊り。

十月十四日

一、午後社宅奥様病院へ御見舞二行かる。

一、おたま暇取帰る。

十月十五日

一、大奥様午前より病院へ御出遊ばさる。

一、午後社宅奥様病院へ行かる。

一、午後麻生屋様栄様の病気のため御来邸。

一、午後五時三宅博士及山田先生来診。

一、義ちやま、太ちやま箱崎へ御参詣。

一、一昨十三日より表家座敷建築二取掛り大工来る。

一、午後七時若御主人様御来宅。

十月十六日

一、太七郎様、義ちやま十二時の汽車にて御帰飯。

伊三郎母病
氣にて解る

十月十七日

一、午前大奥様、若御主人病院へ御出。

一、御主人様博多十二時着にて御出福。一方亭へ直接御出。夜十一時半
御来邸。

一、夜行にて善五郎フロツクコート持来る。

十月十八日

一、病院若奥様糸取りニ付大奥様朝より御出。午後若主人、社宅奥様、太七郎様も病院へ行かる。

一、午前九時発にて御主人様八幡製鉄所ニ御出。

一、午後四時急行にて太七郎様上京せらる。

一、山田先生来診。

一、高山吉田様、若御夫婦及森崎屋若奥様御来邸。

十月十九日

一、高山御夫婦、木村氏、若夫人午後四時にて御退出。

一、午後十時稲田博士及山田先生来診。

一、夕飯後若主人一方亭へ御出。

一、大奥様病院へ御出。

十月二十日

一、午前九時若松篠崎氏御夫婦来邸。

一、若御主人及大奥様自動車にて御帰飯。

十月二十一日

一、山田先生来診。

十月二十二日

一、午後一時若御主人及若奥様来邸。

一、午後若御主人御帰飯。

一、山田先生朝夕来診。

一、御主人十二時半御出福。一方亭へ直ニ御出。午後十一時御来邸。

十月二十三日

一、山田先生来診。

一、朝棚橋氏来邸。

一、午前伊吹氏外一名御来宅。

一、御主人午後四時半三井銀行宴会ニ御出。

一、午後七時社宅御主人様来宅。

十月二十四日

一、午前九時御主人様別府御出。

一、午後四時三宅博士及山田先生御来診。

十月二十五日

一、山田先生来診。

一、社宅御主人様坂本病院へ御入院の清水壮佐久様令息御見舞ニ御出。

十月二十六日

一、山田先生代診来宅。

一、大賀おたつ様来宅。奥様御見舞のため。

一、午後清水壮佐久様及夫人、御子供同道にて御来邸。

一、内ヶ磯吉川奥様午後四時急行にて御帰宅。

一、古賀駅前吉川様よりカニ一箱到着。

一、社宅御主人十二時急行にて長崎へ向け御出発。

十月二十七日

一、山田先生来診。

一、社宅御主人様午後四時長崎より来邸。

一、本家若主人午後九時御来邸。

十月廿八日

一、午前七時社宅御主人様病院へ。野見山奥様と御一緒ニ御出。

一、全十一時操奥様御退院。

一、午前八時五十分発にて若御主人様久原へ御出発。

一、夕飯後井上看護婦横山附添婦宅。

一、午後四時発にて社宅御主人様門司ニ御出。

一、山田先生来診。

十月二十九日

一、午前御主人様自動車にて御来邸。

一、山田先生来診。

一、御主人様午後九水ニ御出。其より一方亭へ。

一、若御主人十二時久原より御来邸。全四時自動車にて御帰飯。

一、操奥様、社宅奥様、清水様御見舞のため坂本病院へ御出。

一、嘉穂郡長来邸。御主人様御不在にて玄関までにて御退出。

十月三十日

一、午前九時御主人様若松へ御出浮。

一、町内より寄附のこと二つき区長外一名来宅。

一、別府須藤氏来宅。

一、午後七時大御主人若松より御来邸。

一、午後四時三十分三宅先生及山田先生来診。

一、操奥様午前三宅博士宅へ、午後榊博士宅へ御礼のため御出。

十月三十一日

一、山田先生来診。

一、朝伊藤氏、中野氏来宅。

一、午後御主人様一方亭御出。

十一月一日

一、午後四時稲田博士及山田先生来診。

一、若奥様御三人及太介様箱崎八幡宮へ参詣さる。

一、午後御主人様栄屋へ御出。

一、全五時御主人様自動車にて御帰飯。

十一月二日

一、山田先生来診。

一、操、米奥様午後坂本病院へ清水様御見舞ニ御出。

一、男兵児帯三筋松井より本家ニ送らせる。

一、御主人様より御頼みの古長持三棹梅田持参す。

一、麻生屋若奥様御来邸。

十一月三日

一、女学校運動会にて午後より操奥様、米子奥様、太介様御出。

一、瓜生様御来邸。

十一月四日

一、山田先生来診。

一、大奥様、義太賀様、つや子様午後六時自動車にて御来宅。

一、午後七時若御主人様御来邸。

十一月五日

一、山田先生二度御来診。

一、操奥様午後四時本家へ御帰宅（自動車にて）。

一、午後清水氏夫人御来宅。

一、若御主人様十二時発にて門司へ御出。

十一月六日

一、山田先生来診。

十一月七日

一、山田先生来診。

一、三宅博士、野見山様、栄様診察のため御来診。

十一月八日

一、山田先生来診。

一、長岐氏御見舞のため来邸。

十一月九日

一、山田先生来診。

一、若御主人様午前一方亭へ御出になり午後七時御来宅。夕飯後自動車

にて御帰飯。

一、太賀ちやま午前自動車にて御来邸。

十一月十日

一、御大典奉祝のため午後富代様学校に御出。

一、午前太介様、つや子様紐解の御祝にて箱崎八幡宮に御参詣。夕飯後福引などありて賑かなりき。

一、午後八時電報到着。本家にて電話にて御通知す。

ホンヒトクシヨモツテシヨウ六イニジヨセラルルムネハツピヨウセラ
ル

受信人 フクラカケンチヨウキツケ アソウタキチ

出信人 エキナイカクシヨキカンテウ

十一月十一日

一、午前八時半夏子奥様御男子御出産遊ばさる。

一、今淵先生来診。

一、産婆長谷川氏来宅。

一、田久保氏産婆之手伝として来宅（此夜泊らる）。

一、若御主人様自動車にて御来邸。

一、操奥様、八郎様、縫子様、野見山様より御安産の祝電来る。

一、京都御滞京中之御主人様より祝電来る。

十一月十二日

一、山田先生来診。

一、午後一時より大奥様、若御主人様、太賀様、義太賀様自動車にて津屋崎別荘へ御出。全七時御帰邸。

十一月十三日

一、山田先生来診。

一、午後七時社宅御主人様来宅。

十一月十四日

一、山田先生来宅。

一、若松出張所員浪川氏来宅。

一、午前八時若御主人様古沢先生御同伴にて自動車にて御帰飯。

十一月十五日

一、午前八時社宅御主人及太賀吉様自動車にて御帰飯。

一、原庫次郎氏宅より御祝として鯛及鮑頂く。

十一月十六日

一、午後四時稲田博士社宅奥様診察之ため御来邸。山田先生も同時二御来宅。

一、午後水茶屋おえん連中大京女の姿にて来る。

十一月十七日

一、山田先生来宅。

一、東京嶋屋内御主人様より敷物鉄道便にて着す。

十一月十八日

一、山田先生来診。

一、十二時半着にて太賀吉様、瓜生奥様、酒屋奥様、麻生屋若奥様御同道御来邸。夕飯後大奥様御客様御同伴にて博多まで御出遊ばさる。

一、京都御滞在中の御主人様午後七時京都御出発、明日午後二時飯塚御着之方本家より電話にて御報知ある。

十一月十九日

一、午後十二時半着にて御主人様京都より御来邸。全四時半自動車にて本家ニ御帰り遊ばさる。

一、九時瓜生奥様、酒屋奥様、麻生屋奥様飯塚へ帰らる。

十一月廿日

一、若御主人様御来邸。

一、山田先生二度御来診。

十一月廿一日

一、朝若御主人様飯塚へ帰らる。

一、午後角田様御祝ひに御出。三十分後御退出。

一、夕飯後有田様御夫婦御来宅。

一、山田先生来診。

十一月廿二日

一、山田先生来診。

一、山内御母堂様御来宅。

一、若松佐伯様御夫婦御来邸。

一、大御主人様御来邸。

十一月廿三日

一、午前十時大奥様、社宅奥様、義太賀様、太介様自動車にて飯塚ニ帰らる。山口さん、伊奈さん、お仲さんも御伴する。昨夜来宅之茂田さん汽車にて飯塚ニ帰らる。

一、大御主人様午後一方亭御出。六時御帰り。

一、午後九時三宅博士及山田先生御来宅にて吉田奥様、野見山若主人、栄様診察受らる。

一、午後四時本家若御主人様及御法川氏御来宅。全六時対州ニ向け御出発遊ばさる。

一、十二時高山吉田御夫婦来宅。

十一月廿四日

一、大御主人様午前五時発にて別府御出。

一、長谷川氏来宅。

一、高山若主人病院にて手術受られ十一時頃終らる。

一、午後八時高山御老母御来宅。

十一月廿五日

一、山田先生来診。

一、高山御主人御退出。

十一月二十六日

一、山内御母堂様午前国永齒医者ニ御出。午後高山客人一同共ニ御見物御出あり。

十一月二十七日

一、午後六時操奥様及麻生屋御主人様、太三郎様、茂田さん御来宅。

十一月二十八日

一、午前八時若御主人様御法川様同伴巖原より御来宅。一時間後自動車にて飯塚二帰らる。

一、麻生屋御主人様御退出。

一、高山御老母様御退出。

十一月二十九日

一、高山奥様系取りニ病院御出。操奥様も行かれる。

一、午後四時操奥様飯塚二帰らる。

十一月三十日

一、午後七時若松義之介様宛蒲団二包送る。

一、原庫次郎氏より法事之もの頂く。仏前ニカステーラ一釜送る。

十二月一日

一、午後三時夏子奥様今淵先生宅へ受診ノタメ御出浮遊バサル。

一、午後六時田久保氏退邸。

一、中野氏ニ進物之造花伊三郎飯塚へ持行く。

十二月二日

記事なし

十二月三日

一、午後四時夏子奥様今淵先生宅へ受診ノタメ御出浮。

一、長谷川氏及田久保さんニ薄謝及反物大嶋^{（前）}緋名仙持たせる。

十二月四日

一、午後八時若御主人様自動車にて御来邸。一時間後飯塚二帰らる。

十二月五日

一、午後四時頃大奥様、社宅奥様、義ちやま、太ちやま自動車にて御来邸。

十二月六日

一、午後一時大奥様、社宅奥様及義ちやま、太ちやま津屋崎二御出（自動車にて）。

一、夜野見山様御来邸。

十二月七日

一、午後一時古沢先生及山内御母堂様自動車にて本家ニ御出。

一、午後七時古沢先生本家より御帰福。

十二月八日

一、午後一時若奥様、太賀様、つや様、典太様自動車にて本家ニ御帰り遊ばさる。

一、青柳さん暇取り帰らる。

一、吉川奥様御帰宅。一時間後御退出。

十二月九日

一、家庭文庫注文す。

十二月十日

一、津屋崎より来電（義太賀様御病氣にて山田先生御受診のこと）。

十二月十一日

一、高山奥様退出。

一、義太賀様御病氣宜敷山田先生御出見合せの電報津屋崎より来る。

一、御主人様寝まき及たんぜん別府ニ送る。津屋崎へも寝まき、給ネル送る。

十二月十二日

一、午後若御主人様及店員山崎氏、三好氏来宅。

一、野見山様来邸。

十二月十三日

- 一、午前九時若御主人様若松ニ向け御出発。
- 一、山崎氏及三好氏退出。
- 一、十二時の列車にて津屋崎ニ牛肉及茶送る。

十二月十四日

- 一、若主人午前九時頃御来邸。全十時五十分にて本家ニ御帰り遊ばさる。
- 一、午後四時大御主人様自動車にて御来宅。
- 一、麻生觀八氏、梅谷氏外三名来邸。夕食を済して退出。

十二月十五日

- 一、大御主人様午前七時半自動車にて飯塚へ御帰り遊ばさる。
- 一、午後一時店員多田鉄夫氏^(男)来邸。病気のため山田先生ニ受診。
- 一、お文津屋崎へ行く。

十二月十六日

- 一、多田氏滞在。

十二月十七日

- 一、午前八時自動車津屋崎ニ行く。
- 一、午後一時大奥様、社宅奥様、御子様自動車にて津屋崎より御来宅。
- 一、午後四時稲田博士御来診。

- 一、山田先生来診。

- 一、三宅博士、野見山様及栄様診察のため来宅。

十二月十八日

- 一、有田御母堂様及御夫人来邸。一時間後御退出。
- 一、大御主人様及福沢氏自動車にて御来宅。

十二月十九日

- 一、五時発福沢氏別府ニ向け御退出。

- 一、午後麻生屋様御来邸。

- 一、野見山様御来宅。

- 一、有田御母堂様御来宅。

- 一、午後二時大御主人様一方亭御出。全十一時御帰宅。

十二月二十日

- 一、午前五時発大御主人様御上京遊ばさる。

- 一、野見山、麻生屋様午前五時発にて飯塚ニ帰らる。

- 一、午後一時若御主人様御来宅。全四時急行汽車にて若松ニむけ御出遊ばさる。

- 一、御主人様鳥打帽子東京へ鉄道便にて送る。

十二月二十一日

- 一、午前社宅奥様、坊ちやま御一行津屋崎へ自動車にて御帰り。

- 一、午後一時若御主人様御来宅。

- 一、全四時大奥様及若主人自動車にて御帰飯（お文さんハ四時五十分汽車にて帰飯）。

- 一、有田御母堂様御来邸。午後御退出。

十二月二十二日

- 一、野見山奥様及幡次郎様午後三時自動車にて岩崎ニ御引上げ。

十二月二十三日

- 一、一方亭より金屏風二画をかゝせること電話ニ掛りたれど其こと御話し聞いてなく東京ニ打電す。
- キンビヨウブキズノシユウゼンシアリマセヌイツポウニオハナシノ
トラリエヲカカセマスカヘン

十二月二十四日

一、義太賀様、太介様飛行機見物のため御来邸。

東京より左之返電あり。本家ニ電話す。

キンビヨウブキズアルナラホンケノブントリヨセカカセアレ

十二月二十五日

一、午後十二時三十分富代様、栄様飯塚ニ御帰り。

十二月二十六日

一、義ちやま、太ちやま練兵場ニ飛行機見ニ御出。

一、山内炭坑より五人飛行機見ニ来邸。

一、杜宅御主人御来宅。

一、午後二時杜宅御主人、義ちやま、太ちやま御退出。

一、午後一時画師歌川氏来邸。金屏風二画をかゝる。午後八時退出。

十二月二十六日

一、午前十時半歌川氏来宅。

十二月二十七日

一、歌川氏午後二時屏風画出来上り退出。

十二月卅日

一、田山様午前九時にて本家へ行かる。

月 日 回

二月廿四日 一 夕方 大主人 病氣胃腸

全 廿五日 二 朝夕 全

全 廿六日 一 朝 大主人及つや子様

全 廿七日 一 朝 つや子様 腸の病氣

全 廿八日 二 朝夕 全

三月一日 三 朝午後夕 朝つや様 夕方伊藤

全 午後太助様 博士立合

全 太介様、つや様

三月三日 二 朝夕 全

三月四日 二 朝夕 全

三月五日 二 朝夕 太介様、つや様

三月六日 二 朝夕 全

全 七日 二 朝夕 全

八日 二 〃 〃

九日 二 〃 〃

十日 二 〃 〃

十一日 二 〃 〃

十二日 二 〃 〃

十三日 一 〃 〃

十四日 一 〃 〃

十五日 一 〃 〃

十六日 二 〃 〃

十七日 二 〃 〃

十八日 二 〃 〃

十九日 二 外ニ代診一度 御主人御病氣ニ付

二十日 二 代診一度 〃

廿一日 二 〃 〃

廿二日	一	代診一度	〃	十六日	一	
廿三日	一	代診二度	〃	十八日	一	
廿四日	二	代診一度	〃	廿日	一	
廿五日	二	代診一度	〃	廿二日	一	
廿六日	一	太介様		廿六日	一	
廿七日	二	代診一度	義太賀様、太介様	廿八日	一	
廿八日	二	代診一度	賀一郎様、太介様	五月三日	一	
廿九日	一	代診一度	〃	五月四日	二	
卅日	一	代診一度		五月廿一日	一	社宅奥様診察
卅一日	一	代診一度		五月卅一日	一	大奥様
四月一日	二	代診(賀一郎様付替)		六月十日	一	全
二日	二	河野先生一度		六月廿四日	一	御主人
三日	一			全 廿六日	一	全
四日	一			全 廿八日	一	全
五日	一			七月九日	一	太賀吉様 眼、齒
六日	三			七月十一日	一	全
七日	一			七月十九日	一	操夫人
八日	一			七月廿日	一	全
九日	一			七月廿一日	一	全
十日	一			七月廿七日	一	御大奥様
十一日	一			七月廿八日	一	大奥様及太介様
十二日	一			七月廿九日	一	全
十三日	一			七月卅一日	一	全
十五日	一					

〔欄外〕 山田先生謝礼ハ七月末迄済

八月二日	一	全	九月十日	一	全
八月四日	一	全	九月十一日	二	全、後一度ハ太七郎様入院後 幡次郎様診察ノタメ
八月五日	一	全			野見山若主人
八月六日	一	大主人、奥様	九月十二日	一	全
八月七日	一	全	九月十四日	一	全
八月八日	一	全	九月十六日	一	全
八月拾貳日	一	艶子様(宅エ行カル)	九月十八日	二	全 富代様風邪ニて診察
八月十六日	一	艶子様(宅へ行かる)	九月廿日	一	若奥様、富代様
八月廿五日	一	太七郎様御病氣	九月廿一日	一	操奥様山田先生宅ニ行かる
八月廿六日	一	全	九月廿二日	一	操様、野見山様、太介様
八月廿七日	二	代診一度	九月廿三日	一	全
八月廿八日	二	代診一度	九月廿四日	二	全
八月廿九日	二	全	九月廿六日	一	全
八月卅日	二	全	九月廿七日	一	野見山様
八月卅一日	二	全	九月廿八日	一	米様
九月一日	二	全	九月廿九日	一	野見山様、伊三郎
九月二日	二	全	九月卅日	一	野見山様、伊三郎、おたま
九月三日	二	全	十月一日	一	野見山様、米子様
九月四日	一	全	十月二日	一	全
九月五日	一	全	十月四日	一	全
九月六日	一	全	十月五日	一	全
九月七日	二	全	十月六日	一	全
九月八日	一	全	十月七日	一	全
九月九日	一	全	十月八日	二	全

十月九日	一	野見山様、米様、栄様	全	全	八日	一	全
十月十一日	一	全	全	全	九日	一	全
十月十二日	一	全	全	全	十日	一	全
全 十三日	一	全	全	全	十一日	一	全
全 十五日	一	全	全	全	十二日	二	全、太介様、つや様
全 十七日	一	全	全	全	十三日	一	全
全 十九日	一	全	全	全	十四日	一	全
全 二十一日	一	太介様	全	全	十五日	一	全
全 二十二日	二 朝夕	全	全	全	十六日	一	全
全 二十三日	二	全	全	全	十七日	一	全
全 二十四日	一	全	全	全	十八日	一	全
全 二十五日	一	全	全	全	廿日	二 朝	全
二十六日	代診		全	全	廿一日	一	全
全 二十七日	一	全	全	全	廿二日	一	全
全 二十八日	一	全	全	全	廿三日	二	全
全 二十九日	一	全	全	全	廿四日	一	若奥様、高山奥様
全 三十日	一	全	全	全	廿五日	一	多田氏
全 三十一日	一	全	全	全	十二月十五日	一	米様、太介様
十一月一日	一	全、操様	全	全	十二月十七日	一	
全 二日	一	全、太介様	全				
全 四日	一	全	全				
全 五日	二	全	全				
全 六日	一	全	全	十二月十七日	稲田博士	米様	
全 七日	一	全	全	十一月十六日	稲田博士 夕	米様	

